

高等学校 令和4年度（2学年用） 教科 家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 3 組～ 4 組

使用教科書：（ 新家庭基礎2 1 ）

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】生活に必要な知識と技術を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかわりについて理解する。

【学びに向かう力、人間性等】男女が主体的に家庭や地域の生活を想像する能力と実践的な態度を育てる。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭および福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識や技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭および福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能	人の一生と家族・家庭および福祉、衣食住、消費生活などについて関心を持ち、その充実・向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	はじめに「よりよい明日」を生きるため 1編 自立して生きる 1章 「自立する」とは？ 【知識及び技能】「4つの自立」の必要性について理解し、自己の自立とも関わらせながら考えを深める。 【思考力、判断力、表現力等】今後の人生に向けて自立のためには生活スキルが必要であり、他者との支え合いや社会の支援の中で成り立つことを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】青年期の課題を理解し、自立に向けての目的意識を持つ。	1. 一年間の授業の進め方 2. 生き方の多様性とこれからの人生を理解させること 3. 青年期と自立について考えさせ、生活的自立と社会的、経済的、性的自立ができる力を養わせること	【知識・技能】「4つの自立」について必要な基礎的基本的な知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】人の一生を生涯発達の視点でとらえ、青年期の課題の解決を目指して、思考を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】事故の自立を目指して青年期の課題に関心を持って取り組んでいる。	○	○	○	6
	2章 楽しく安全に食べる 【知識及び技能】健康な食生活を営むために必要な栄養、食品、表示、また食品の保存と食中毒・食品添加物について基本的な知識と技術を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】食の安全性や健康で安全な食生活を支えるうえでの問題や課題を探る。 【学びに向かう力、人間性等】食の意義や役割を理解し、現代の食生活の課題について関心を持つ。	1. 栄養とその働き、食品の選択を理解させること 2. 食品の取り扱いを知り、食事の計画を立てさせること 3. 調理実習 4. 食品の安全性を理解すること	【知識・技能】食生活の重要性を理解し、栄養や食品の性質や保存、食中毒や食品添加物など、食品の選択に関わる基礎的基本的な知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】栄養、安全性、環境などの多様な視点を持ち、現代の食生活の問題点および課題を見出し、思考を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】栄養や食品に関心を持ち、自己の食生活を振り返り、健康で安全な食生活を目指す学習活動に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	3章 選んで着る 【知識及び技能】健康で快適な衣生活を営むために必要な材料や管理などの基礎的基本的な知識と技術を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】環境負荷の少ない購入・管理・消費についての問題意識を持つ。 【学びに向かう力、人間性等】衣服の選択の重要性について理解する。	1. 衣服の選択と自分らしい衣生活を考えさせること 2. 衣服の材料や管理について理解させること 3. 衣服をめぐるトラブルと表示の見方を知らせること 4. 被服製作	【知識・技能】被服の機能を理解し、被服材料や管理についての基礎的基本的な知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】資源の有効利用の観点から衣生活をとらえて、環境や安全などに関わる問題点及び課題を見出し、思考を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】被服材料の性能等に関心を持ち、健康で快適な装着のために必要な知識や技術の習得に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	定期考査 ホームプロジェクト			○	○		2
2 ...	4章 人間らしく住む 【知識及び技能】住まいの機能および住環境について、住まいの選択の観点から必要な基礎的基本的な知識と技術を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】住まいの改善、地域での住まい方、まちづくりについて考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】住まいの役割について考え、住まいの多様性について理解を深める。	1. 住まいの選択と住まいの安全性を理解させること 2. ライフスタイルに応じた間取りを考えさせること 3. 平面図実習	【知識・技能】健康で安全な住まいや住まい方をするために必要な基礎的基本的な知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】環境や安全に配慮した住まいづくりやまちづくりを目指して、思考を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】住まいや住環境に興味を持ち、健康で安全かつ快適な住環境を考えようとしている。	○	○	○	8

学 期	5章 消費社会を生きる 【知識及び技能】消費生活の現状や家庭経済と社会のかかわりを理解し、消費者として主体的に判断し、行動できる力を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】電子商取引や問題商法などの被害について知り、どのような対応が必要か考える。 【学びに向かう力、人間性等】100円ショップやスマホといった身近なものから現代の消費生活の問題に関心を持つ。	1. 広がる経済社会と消費生活の現状を理解させること 2. 契約と消費者信用、問題商法について理解させ、消費者の権利と救済の仕組みを知らせること	【知識・技能】家計の管理や家庭経済、契約の原理と消費者信用の内容を理解している。 【思考・判断・表現】具体的な事例を通して、環境負荷の少ない消費生活についての思考を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】消費生活について関心を持ち、適切な意思決定や消費行動について考えようとしている。	○	○	○	9
	2編 支え合って生きる 1章 多様化した社会を生きる 【知識及び技能】家族や家庭生活のあり方や男女の平等と多様な人々との共生を理解するとともに、法律や個人・社会を支える社会システムについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】ワークルールや社会保険の内容について知り、自らの権利を守り、人間らしく働き続けられる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】社会の変化と家族の現状と課題に鳥ついて理解する。	1. 社会の変化と家族の変化を知り、課題について考えさせること 2. 家族をめぐる法律を理解させ、多様な生き方があることを知らせること 3. 生活時間と仕事の現状と課題について理解させること	【知識・技能】男女共同参画、ワーク・ライフ・バランスなど、現代の家族やライフスタイルをめぐる問題などについての基礎的基本的な知識を身につけている。 【思考・判断・表現】家族法の内容と今後の課題について多様な生き方を尊重し、男女が協力して社会を築くという考え方を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】家族や家庭生活のあり方に関心を持ち、男女が協力して家庭や社会を築くことの重要性を考えようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	2章 子どもと生きる 【知識及び技能】親になるということの意味と子どものを生き育てていくにはどのような条件が必要か考える。 【思考力、判断力、表現力等】子どもを取り巻く環境や子育ての現状や課題について考え、解決法を探る。 【学びに向かう力、人間性等】子どもを取り巻く環境や子育ての現状、課題について考え、解決法を探る。	1. こどもの心身の発達と子どもの生活を理解させること 2. こどもの保育の場の変化や社会・地域の子育て支援について知らせること 3. 子どもを取り巻く社会の課題について考えさせること	【知識・技能】子どもの心身の発達と生活、親の役割、子育て支援等について、基礎的基本的な知識を身につけている。 【思考・判断・表現】子どもを取り巻く現状を理解し、子育てに関する問題や課題を見出し、その解決に向けて思考を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】子どもや子育てに関心を持ち、子どもを支える一人としてあるいは将来の親として、子どもの健全な成長について、意欲的に考えようとする。	○	○	○	8
	3章 支えあい・共に生きる 【知識及び技能】高齢社会、貧困や障がいなどの課題から、福祉のあり方や共生社会について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】高齢者や障がい者の特徴や生活を理解し、自立した生活を支えるために社会等が果たす役割を考える。 【学びに向かう力、人間性等】社会保障の必要性と国による考え方の違いについて理解する。	1. 高齢者の理解と高齢者福祉、障がい者の現状と障がい者ふくしについて理解させること 2. 社会保障の必要性と日本の制度について知らせること	【知識・技能】高齢者の特徴と理解し、高齢社会と障がい、貧困の現状と課題、福祉制度について、基礎的基本的な知識を身につけている。 【思考・判断・表現】生涯を通じた社会保障の必要性について、考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】高齢社会や貧困、障がいについて問題、社会福祉制度について関心を持ち、自らの課題として考えようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		合計 70